

意外に楽しかったニュースレター発送作業

会社員 徳丸謙二

社会人になると、自分の自由度が広がる。
時間の自由は少なくなるとしても、金銭面の自由が出てくる。
興味があることばかりに首を突っ込んでいった結果、視野が狭くなるのを感じていた。
そんな自分に鞭を打つため始めたボランティア活動ですが、ニュースレター発送という
一見地味な活動に自分から参加させていただきましたが、実はあまり期待はしていません
でした。

若干の遅刻はしましたが、無事に到着し、作業に取りかかる。

「トイレ用ポンプの提供をします」という手書きメッセージを書く。

胸がチクリと痛みました。



日本にいるとつい忘れてしまう。
電気、水道、ガス、交通、流通、
通信…日本はこれら生活基盤が
十分に整っている環境であるこ
とを。

ジャングルの奥地に住む「我々
は自然と共に生きる。便利な仕
組みなど不要だ」と言い張る原
住民ならともかく、これらの生
活基盤が欲しくても整わない国
や地域がある。

この宛名書きは、そんな「欲し
くても整わない生活基盤を整え

る手助け」になることだと。

こんな考えを「きれい事」と言うならそれでも結構です。どうぞ汚れた言葉でもかけて
ください。

どれだけ強烈に汚れを落とす洗剤があっても、汚れが発生するまでは、きれいにする洗
剤の使い途がないのですから。

「正義の存在価値は、悪の存在によって証明される」という皮肉な格言もあります。

手書きにも意味がある。ある自動車販売店とアパレルショップは、手紙のプリンタ利用
を制限しています。すべてまたは一部を手書き。

「字が下手でもいい。手書きには心を動かす力がある。手で書け」と。凄腕の店員だと
お客様の数も多いから、余計負担になります。

それでも手書きを徹底させています。

心に届くのは「文章」ではなく「文面」だから。

受け取る人に、書き手の心を届ける使命感を受け止めて書き続けました。みなさんも同
じ気持ちだったでしょう。

流れ作業のごとくひたすら黙々、と思っていたけど、自己紹介したり、何をすればいい
のか周囲に確認しながらだったので、集中と弛緩を繰り返して楽しいひとときでした。

一作業、一段階ごとに区切って足並みが揃うまで次の作業への移行は様子を見つつ進め
る主催側の手際も見事です。この手際は仕事でも役立ちそうです。

また、「ボランティアに参加した皆さんをこき使う」という一言も納得しました。

確かに、暇すぎてぼんやりする時間が多かったら、退屈して飽きてしまうでしょう。

終わった後のデニーズでのお昼も、サプライズがあって楽しかったです。
先行して席を取ろうとしました。しかし満席だったため待ちがありました。待っている間に、ボランティア参加のお二人が後から入ってきてばったり。
一緒に食べることとなりました。
空席があってスムーズに座っていても、満席だからとあっさりお店を出てもこの展開にはなりませんでした。
再認識したり、新しい発見をしたり、サプライズがあったりと、とても充実した時間を過ごせました。

主催者を含めて参加されたみなさん、本当にありがとうございました。

